

2025 日消連第 22 号 2025 年 7 月 3 日

様

特定非営利活動法人日本消費者連盟

共同代表 亀山亜土

共同代表 佐々木ミヨ子

共同代表 原英二

共同代表 マーティン・フリッド

紅茶のティーバッグや飲料容器等に関する質問状

私たちは消費者の安全を求め、運動している消費者・市民団体です。近年、プラスチックの有害性が指摘され、とりわけマイクロプラスチック（微細なプラスチック粒子）は私たちの健康に悪影響をもたらす可能性のあることがわかってきました。昨年発表された研究によると、ティーバッグ※1 や紙コップ※2 から発生する膨大な量のマイクロプラスチックが有害である可能性が指摘されています。

そのため、貴店舗で提供される紅茶および飲料容器などについてお尋ねしたく、ご多忙の中恐縮ですが、以下の 4 点についてお教えくださいますようお願い致します。

1. 貴店で提供している紅茶はティーバッグを使用していますか。それとも茶葉から直接抽出していますか。ティーバッグの場合、素材（例：ナイロン製や不織布製、紙製など）もわかる範囲でお答え下さい。

- ① ティーバッグ（ 製） ②ティーバッグは使用せず直接茶葉を使用
③その他（ ）

2. プラスチック製ティーバッグからマイクロプラスチックが発生することをご存知でしたか。

- ① 知っていた ②知らなかった ③その他（ ）

3. 店内の飲食者に対し、飲料をリユースカップで提供していますか。それとも、使い捨てカップを使用していますか。

- ① リユースカップで提供 ②使い捨て紙コップで提供
② 使い捨てプラスチックカップで提供 ④その他（ ）

4. ストローを提供していますか。提供している場合はその方法と材質をお教え下さい。

- ① 全員に提供（材質： ） ②希望者にのみ提供（材質： ）
② 提供していない ④その他（ ）
③

5. なお宿泊施設につきましては、室内あるいは朝食時などに提供する緑茶等フリーサービスのドリンク類についてお教え下さい。ティーバッグの場合、素材（例：ナイロン製や不織布製、紙製など）もわかる範囲でお教え下さい。

- ④ ティーバッグ（ 製） ②ティーバッグは使用せず直接茶葉を使用
③その他（ ）

お忙しいところ、大変申し訳ありませんが、7月25日までにご回答いただけますよう、どうぞよろしくお願ひいたします。なお、ご回答につきましては、団体の機関誌、ホームページ等で公開させていただきます。

※1 2024年に科学誌 Chemosphere に発表された研究によると、3種類のティーバッグ（ナイロン製、ポリプロピレン製、セルロース系）に湯を注ぎ標準的な方法で紅茶を抽出したところ、いずれのティーバッグからもマイクロプラスチックの発生が確認された（最大 1 mL当たり 12 億個）。さらに、これらをヒト腸由来の3種類の細胞に曝露させたところ、マイクロプラスチックは細胞内に取り込まれ、細胞核と相互作用している様子も確認された。これは、ティーバッグから発生するマイクロプラスチックは人間の体内に入り込み、健康へのリスクとなるのみならず、DNAを損傷する可能性もあることを示唆している。<https://doi.org/10.1016/j.chemosphere.2024.143736>

※2 紙コップから発生するマイクロプラスチックの影響についての研究は複数あるが、そのうちの1つである妊娠マウスを使った実験によると、紙コップのマイクロプラスチックは胎盤を通過して胎児へ行き、胎児の腎臓、脾臓、肺、心臓などに優先的に蓄積。胎児の発育に有害な影響を及ぼした。この研究は2024年、Journal of Hazardous Materialsに発表された。

<https://doi.org/10.1016/j.jhazmat.2024.135527>

連絡先

特定非営利活動法人 日本消費者連盟 杉浦陽子
電話:03-5155-4765(月・水・金) Fax:03-5155-4767
mail : sugiura@nishoren.org
〒169-0051 東京都新宿区西早稲田 1-9-19-207